

「中等教育資料」令和3年5月号に本校の総合DOVEの取り組みについて掲載されました。

HACXT 05 第1020号 平成24年5月25日発行(種別変更号誌) 令和3年5月10日発行 (毎月1回1頁発行)

中等教育資料

中学校・高等学校の授業研究と教育課程の編成・実施のために

令和3年

5

No.1020

特集

高等学校新学習指導要領の実施に向けて

教育小景 岩本 悠(一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム代表理事・島根県教育魅力化特命官)



文部科学省教育課程課編集





総合 DOVE の充実を支える 「附中三精神」と「明耕気風」

No.14 秋田大学教育文化学部附属中学校

本校は、昭和 22 (1947) 年の開校以来、附中三精神の「自発・創意・責任」を校是とし、日本の栄えを担い立つ多くの人材を国内外に輩出してきた。各学年 4 学級の計 12 学級で、生徒数は 413 名、教員数は 30 名である。生徒や教職員は「生徒がその日の生活の設計に胸をふくらませ、喜び勇んで登校してくる学校」、「教職員も学校での生活が、愉快でやり甲斐がある学校」を目指して、教育活動に励んでいる。久保田城御隅櫓を見上げる秋田市の中心部に位置する、本校を含む秋田大学の附属学校園は、幼稚園、小・中学校、特別支援学校が同じ敷地内にあり、異校種間の連携やインクルーシブ教育等について実践研究できる環境が整っている。その恵まれた教育環境を活用し、「あきたの未来に寄与する教員の養成」や「県内の教育への貢献と先導」という使命を果たすため、本県の教員育成指標に基づく教育実習や先進の教育研究を推進している。

本稿では、令和 2 年度文部科学大臣優秀教職員組織表彰を受賞した「総合 DOVE」を

中心とした本校の取組を紹介する。

||| 総合 DOVE の歩み

本校では、平成 10 年度より総合 DOVE の実践を重ねてきた。「DOVE」とは、本校の校章の意匠である「鳩」を意味する英単語であり、平和を希求する戦後の人々の願いが込められている。また、「DOVE」という名称には Developmental (発展的な学習)、Original (独創的な学習)、Voluntary (自発的な学習)、Enjoyable (満喫できる学習) という、本校が目指している総合的な学習のイメージも込められている。実践を始める際に留意したことは、平成 5 年以来、秋田県が学校教育共通実践課題としている「ふるさと教育」のねらいを踏まえることである。それは、ふるさとの事物との出会い・発見・感動を通じて、①豊かな心を醸成し、②調べ追究する自己教育力を養い、③ふるさとのよさに気付き、自信と誇りを新たにすることにより社会を主体的に生きる力を育むことである。

本校では、そのねらいを実現するために、